

KSKP



とく て い ひ え い り か つ ど う ほ う じ ん

特定非営利活動法人 リアライズ

リアルライフNEWS

vol.3

こんかい つうしん えぬびーおーほうじん せつりつしゅうかい ようす とくしゅう
今回の通信はNPO法人リアライズ設立集会の様子を特集します！！

らいじょう みな すてき つな ふえ
ご来場くださった皆さんとの素敵な繋がりが増えました♪

☆☆☆ 出会いの1つ1つがリアライズの大きな力になっています ☆☆☆

1984年8月20日第三種郵便承認 毎日発行



NPO法人 リアライズ設立記念集会

日時: 2008年9月15日 場所: 和泉シティープラザ

記念講演: 「歩かれへんけど歩いてる」

講師: 牧口 一 二 さん (被災障害者支援NPO法人ゆめ基金代表理事)

NPO法人設立記念イベント

出演: ひまり (音楽ユニット)



とくしゅう そ
特集 其の1

ほうじん
NPO法人リアライズ

せつりつきねんしゅうかい
設立記念集会

えぬびーおーほうじん せつりつきねんしゅうかい ねん がつ にち いずみ おこな やく にん かたがた
 N P O 法人リアライズの設立記念集会が 2008年9月15日に和泉シティープラザで行われました。約200人の方々が集まってくれました！！リアライズが多くの方々に、応援され、支えられ、期待されていると実感しました！！

せつりつしゅうかいしきしだい
■ 設立集会式次第 ■

だい ぶ えぬびーおーほうじん かつどうしょうかい しょうかい
第1部 N P O 法人リアライズ活動紹介 & スタッフ紹介

だい ぶ きねん こうえん ある ある
第2部 記念講演:「歩かれへんけど歩いている」

こう し まきぐち いちじ ひさいしょうがいしゃ えぬびーおーほうじん かぜききん だいひょう リ ジ
講 師: 牧口一さん(被災障害者支援 N P O 法人ゆめ風基金 代表理事)

だい ぶ えぬびーおーほうじん せつりつきねん
第3部 N P O 法人リアライズ設立記念イベント

えん そう おんがく
演 奏: ひまり(音楽ユニット)

えぬびーおーほうじん かつどうしょうかい
■ N P O 法人リアライズ活動紹介！！

リアライズの活動の目的は、障害を持つ当事者だけでなく、他のマイノリティや、健全者も含めた全ての人達が住みやすい地域をつくることです。その中でも、生きることにバリアがあり、差別を受けやすい対象である障害者。そんな障害者が住みやすい地域をつくるということは、障害者を含めた全ての人が暮らしやすい地域への変革だと思っています。そして、そんな地域を実現するための当法人では、障害当事者が地域で生きていくために必要な相談事業(ピアカウンセリングや I L P、ケアマネジメントなど)、重度訪問介護を中心としたヘルパー派遣、障害者の権利を守り、差別と闘うための権利擁護、リアライズの活動や地域のバリアフリーなどの情報提供としてニュースレターの発行、一人暮らしを目指す桃山学院大学障害者学生の支援、児童養護施設出身の当事者や児童擁護関係者からなる Children's views & Voices(通称: C V V)との連携、人権セミナー等を行っています。

リアルライフが事業を開始し、泉大津では多くの変化がみられます。障害当事者自身が権利やニーズを訴えることによって、役所の対応に変化がみられます。また、泉大津では重度訪問介護を 24 時間体制で提供する事業所がなく、そのために利用できずにいた障害当事者や家族から、リアルライフにヘルパー派遣の依頼や相談があります。まだまだこの地域にはニーズが隠れています。そのニーズを掘り起こし、当事者が当たり前の生活を送るためには、多くの社会資源を作る必要があります。リアルライフは社会資源を開拓するパワーを持ち、またリアルライフに関わる人たちが、想いを持って活動できる、来た人が元気になって帰っていける、そのような場所になりたいと思っています。

■ 大切な仲間たちの声 ♪ ♪

登録ヘルパー達から自己紹介、リアルライフへの意気込みを話してもらいました。カッコ書きでリアルライフネームを書きました☆

先陣をきり、張り切って自己紹介してくれた相宅くん（ピンちゃん）、持ち前のとびっきりの元気よさで挨拶してくれた赤澤さん（まめちゃん）、設立初期からリアルライフを支えてくれた川端くん（ノブくん）、リアルライフのお姉さんの存在の酒井さん（みっちゃん）、怪しいニックネームを持つ川口くん（ハルオ）、三井の講演に心を打たれた南海福祉専門学校の若手ホープこと



星野くん（ほっちゃん）、かつての重度訪問介護の講習を寝坊してしまったということをカミングアウトした柴田くん（いっぺい）、設立集会では司会の川本君のサポートに徹していた稗田くん（ひえちゃん）、C V V メンバーであり、リアルライフに参加することが自分の成長に繋がると語った雁野くん（がんちゃん）。

参加できなかった鈴木さん（さおりちゃん）や仲間たちも含めてみんな、それぞれリアルライフと共に何かしていきたい、リアルライフに参加することが自分の中で経験として生きるのではないかな、そんな想いを持ってくれています。リアルライフ設立から、これまでスタッフ4人の力だけでは乗り越えられない壁がいくつもありました。そんな時に、支えてくれたのはこの仲間たちでした。設立記念集会をこんな心強い仲間たちと共にできたことをうれしく思います。

リアルライフに興味を持ち、駆け寄ってきてくれた仲間たち。リアルライフは、このような一人ひとりとの出会いと関わりによって、成長してきました。人の関わりは、一方通行ではなくて、互いに影響し合える、そんな関係をリアルライフは、これからもずっと大切にしていきたいと思っています。

まきぐち いちじ きねんこうえん ある ある
 ■ 牧口一ニさん「記念講演: 歩かれへんけど歩いてる」

じりつかん ちが
 自立観の違い

しょうがいしゃうんどう つく じりつ じりつしえんほう じりつ
 障害者運動が作ってきた「自立」と自立支援法での「自立」
 い み ちが しょうがいしゃうんどう じりつ しょうがい じゅうど
 はどうも意味が違う。障害者運動での「自立」は、障害が重度
 じぶん いえ す じぶん せいかつ も しょうがい も
 であっても、自分の家に住み、自分の生活を持ち、障害を持
 ひと おな せいかつ いっぽう
 っていない人たちと同じような生活をしようということ。一方、
 しょうがいしゃじりつしえんほう じりつ じぶん じぶん
 障害者自立支援法の「自立」は、自分でできることは自分で
 しょうがいしゃうんどう じりつ かん すこ か
 すること。障害者運動により、「自立」観が少しずつ変わってきた
 じりつしえんほう ぎやくもど じりつしえんほう
 が、自立支援法によって逆戻りになった。自立支援法だけでな



かいごほけんせいど おな い ほうこう むずか こうれいしゃ たい ある
 く、介護保険制度も同じように言える。歩行が難しくなった高齢者に対して、歩くことができるようにリハビリさせ、「こ
 れはあなたのためだから、頑張ったほうがいい」と言う。もちろん、自分からそうしたいという高齢者なら結構だが、そ
 きょひ こうれいしゃ たい おな
 れを拒否する高齢者に対して同じようにリハビリさせるのはどうであろうか。

じりつかん も しゃかい しょうがいしゃ こうれいしゃ あつりよく
 このような自立観を持つ社会が、障害者だけではなく、高齢者にも圧力をかけている。

りそう も ぼしよ
 理想を持てる場所

りそう かた げんざい しゃかい むずか しんけん き い ちいき よ
 理想を語ることが現在の社会では難しく、真剣に聞き入れられることがない。しかし、リアライズのようには地域を良く
 じつげん もくひょう も かつどう しゃかい じぶん よ
 していくことを実現するという目標をしっかりと持ち、活動するのは社会にとっても、自分たちにとってもすごく良いこと
 だ。

いぜん で あ みりよく こつけいせいふぜんしやう ひと
 以前出逢った魅力ある骨形成不全症の人

わたし おおさか しごと ひ しこく え か おとこ わたし たず
 私は、大阪でデザインの仕事をしているが、ある日とつぜん、四国で絵を描いている男から、私を訪ねたいと
 でんわ はい かれ しき くるまいす りょうてりやうあし うご かれ しこく おおさか わたし
 電話が入った。彼はベッド式の車椅子にのり、両手両足はほとんど動かない。そして彼は四国から大阪の私の
 じむしょ き かれ つ かいじょしゃ ひとり き き くち
 事務所に来た。しかし、彼には、お連れ(介助者)がいなかった。一人で来たのだ。どうやって来たかと聞くと、「口で
 ある おな ほうこう い つうこうにん よ と かいじょ く かえ しこく おおさか き
 歩いてきた」と。同じ方向に行く通行人を呼び止め、介助をしてもらい、それを繰り返して、四国から大阪まで来たのだっ
 かれ かいじょ たの と き じぶん い ほうこう あいて い ほうこう かさ ばあい
 た。彼が介助を頼む時にはルールがあった。あくまでも、自分の行きたい方向と相手の行きたい方向が重なる場合
 かいじょ たの おな ほうこう あいて もくてきち こ きより たの あいて しんせつしん きより の
 のみ介助を頼み、また、同じ方向であっても相手の目的地を越すような距離を頼むことや、相手の親切心で距離を延
 かいじょ ぜったい
 ばして介助してもらうことは絶対にしなかった。

かれ さい な ひと そうしき こ ひと いちど かれ
 彼は、39歳で亡くなったが、たくさんの人たちがお葬式に来られた。そして、そのたくさんの人たちは「もう一度、彼
 くるまいす お かれ ひと きずな おも ひと せつ ひと つな たいせつ
 の車椅子を押したかった…。」と。彼が人との絆を重んじ、人に接し、人の繋がりを大切にしていたからではないか。

まとめ

リアライズは、人の繋がりを、仲間を、リアライズに関わる人達を大切にしていきたいと思います。人の繋がりがリアライズの原動力であり、それをなくしては、リアライズは存在しません。牧口さんの講演を聴き、設立記念集會に来ていただいた皆さんを見て、そう感じさせられました。

■ ひまりLIVE！！優しい歌声に・・・

設立記念イベントのゲスト、「ひまり」は設立集會のために、東京から駆けつけてくださいました。「ひまり」のリーダーである松瀬一昭（かずあき）さんは三井の大学時代の友人であり、三井はセンターを立ち上げること、松瀬さんはメジャーデビューという夢を持ち、二人は大学卒業後、お互いに夢の実現へと走り出し、そして、2008年NPO法人リアライズ誕生、「ひまり」は2007年7月18日メジャーデビューしました。二人はほぼ同時期に夢を実現しました。



ひまりLIVEでは、歌に乗せて手拍子や突然できた振り付けをし、その場の雰囲気は一変、ライブ会場となりました。やわらかなメロディー、優しい歌声に包まれ、みんなが一つになった気がしました。設立集會の締めくくりに相応しいステージとなりました。

■ リアライズの事務所紹介 & 小ネタ☆**【事務所紹介】**

さて、リアライズの事務所は南海本線北助松駅から徒歩3分のところにあります。僕たちのNPO法人リアライズは、もともとコンビニだったので、正面はガラス張りで、自動ドアの店舗です。

リアライズの店舗面積は約65㎡で、車椅子対応トイレ・相談室があります。

車椅子対応トイレや相談室等の設置・改装費は、皆さんから頂いた寄付金や助成金等で行いました。

開設当初は、スタッフ4人で黙々と仕事をし、人の出入りの少ない事業所でしたが、現在（2008年11月時点）では、登録ヘルパー12人、利用者7人（三井、川本含む）と仲間が増え、学生の休憩所として、また、地域の人たちも立ち寄ってもらえる場所になりました。皆さんもぜひリアライズの事務所に遊びに来てください。スタッフ一同、お会いできることを楽しみにお待ちしております。

【小ネタ】

初めてお越しになる方は、間違えて隣の店舗に入らないように注意が必要です。

なぜなら・・・今の事務所の店舗と契約したときには空き店舗だったところに、金プラチナ買取専門店「リアライズ」がオープンし、名称がカブってしまったからです。

というわけで、ウソのような本当の話ですが、全く業種の異なるリアライズが並んでいます（笑）

■ 集会準備の裏話☆

ある日、三井の携帯に大学時代の井手太一郎という友人から電話がかかってきました。その電話の内容は、大学時代から持っていた自分のパン屋を作るという夢を夫婦で実現したというものでした。

ちょうどその頃、リアライズ事務所では、設立記念集会のグッズを何にしようかと相談していました。

環境にやさしいエコバック、リアライズメンバーを載せたステッカー、などが候補として挙げられましたが、どれもパツとしません。みんなが頭を抱え考えていたその



時、三井がパン屋を
実現した太一郎さん
にパンを頼んではど
うかと言いました。そ
の後、太一郎さんに

連絡し、河内長野にある「たいちろうのパン」というお洒落なお店に行きました。



入るとすぐに、焼けたパンの食欲そそる香ばしい匂いが…☆

たいちろうのパンを食べながら三井と太一郎さんは大学時代を思い出しながら、話してました。大学時代、2人は授業をサボり、遊びに行ったり、コンパしたり、よく麻雀をしていたり…そうとう仲のいい友達だったそうです。

そして、本題！三井から「リアライズ設立集会のためにパンを作ってくれへん？200個ぐらい？」、太一郎さんは「無茶言うなよ！200個なんか、すぐ作れるもんじゃないし、材料費も結構かかるぞ！？」と言われ、強く断られました。しかし、そこで食い下がれないのが、三井孝夫！必死の頼み込み作戦！太一郎さんも、三井の一回言い出したと止まらない性格を知っているのか、「わかった、やってみるわい！」とシブシブ協力している様子でした。（笑）

設立集会前日、太一郎さんに電話をかけ、「お金はいくら払えばいい？」と聞くと、太一郎さんは「タダでいいよ。

その代わり、たいちろうのパンを宣伝して、それと**タダ**で作ったって強調しとけよ！（笑）」と、いろいろ交換条件を言われましたが、なんと**無料**でパンを製造してくれました。

そこには、友人である三井孝夫の為に、リアライズの為に自分も何か協力できればという気持ちがあったのだと思います。暑苦しい友情を感じました！リアライズ設立記念集会の裏の立役者、太一郎さんでした。

■ ～ スタッフの感想 ～

★ ミッチーより、応援してくださった皆さまへ

せつりつきねんしゅうかい きかく かんそう
設立記念集会を企画するにあたって、今までの人生を振り返ってみても、こんなにも想いを込めて何かを企画したことはありませんでした。12年間の集大成であり、活動のスタートを彩るイベント。日々の業務を精いっぱい行ないながら、節目となる大規模なイベントを企画するのは、正直なところ少しプレッシャーがありました。しかし、事務局スタッフ、ヘルパー陣、そして、当日のサポートをしてくれた仲間たちとともに創ったこの集会は、自分自身の人生にとって、リアライズにとって素敵な1ページを刻むことができました。今回、参加してくださった、たくさんの方々と、遠くから見守ってくださった方々の応援を一身に受け、仲間
の存在があるからこそその自分だと改めて感じました。(三井 孝夫)

★ 翼より、リアライズと結婚した日

ひとり ちから おも とも ひと つど あたら なが う だ ひ びじかん とき
一人ひとりの力がちっぽけでも、思いを共にできる人が集えば、新しい流れを生み出せると日々実感しています。時には、くじけそうになることも多々ありますが、仲間や応援してくださる方々からエネルギーをもらっています。僕にとって設立集会は、そんなエネルギーを一身に受け、リアライズのメンバー同が一つになった記念日でした。(長瀬 翼)

★ 暴れん坊より、応援してくれている皆さまへ

こんかい ぼく しかい たいやく にな はじ ふあん ぼく いま
今回僕は、司会という大役を担うこととなり、初めはできるかどうか不安でたまりませんでした。それもそのはず、僕は今まで、200人近くの人前で話したことはありませんでした。しかし、僕も研修生とは言え、立ち上げメンバーの1人です。いつもリアライズのメンバーに迷惑をかけてばかりの僕ですが今回の設立記念集会は、みんなの足を引っ張るのではなく、僕のすべての力を出して、やり抜こうという気持ちで頑張りました。その結果、心身ともにすごく緊張はしましたが、いまは設立記念集会を無事に終えた達成感でいっぱいです。

みな せつりつきねんしゅうかい こ ほんとう かわもと まさかつ
皆さん、設立記念集会にお越しいただき、本当にありがとうございました。(川本 将勝)

★ ヒロシより、リアライズ誕生を目の前で見えて…

せつりつきねんしゅうかい こ かたがた おお み ぼく そつちよく き も みなさま ゆうき
設立集会に来られた方々の多さを見てびっくりしたのが、僕の率直な気持ちでした。そして、皆様からたくさんの勇気をいただきました。リアライズの仲間たち、リアライズに関わるたくさんの方々を大切にすること、それは必ず自分にプラスとし返ってくる、そんな風に思いました。(山本 啓司)



リアルライフニュース創刊号で紹介した自立生活を目指している辻田奈々子さんが
関わっているサークルで初めて企画をしたので、そのときの感想を掲載します☆

今回初めてノープランの企画をしました、
辻田です。今までの企画は、川本さんがほとん
ど中心になって企画をしていたのですが、今回から
私が企画をすることになりました。

代表になってからの初の企画だったので、不慣
れな点が多く、副代表の川本さんをはじめ、た
くさんの人に協力をしてもらいながら今回の企画
を進めていきました。そもそも、みんなで遊びに出
掛けるということは私もよくありますが、自分が
幹事となって企画をしていくことはあまり経験が
無かったため、最初はあたふたしてしまいました。
(笑)

夜のプログラム(ダーツバー)のお店探しから始
まり、車いすでも入れそうなお店があったので、
そこへ無料で見学をさせてもらいに行ったり、ゲ
ームセンターへは実際に車いすでも動きやすいか
どうかを確かめに行ったりもしました。難波は普
段あまり行かないですし、心斎橋に至ってはな
んとこれまで、出歩いたことがなかったので、下
見だけでも私にとっては刺激のあるものでした。

サークル企画出来ちゃいました☆

当日の天気は雨でした。雨天の場合のことは全
く考えていなかったなので、急遽予定を変更し
たり、夕食の場所をみんなに聞いたり、その場
で決めることが多かったのです。優柔不断な私
は川本さんに相談ばかりしてしまい、代表として
リーダーシップをあまり発揮できなかったように
思いました(;_;)

こうして今回の「遊びまくりツアー」を無事に
終えることができました。終わってから「楽しか
ったよ!!」と言ってもらえたときはとても嬉し
かったです。ノープラン=計画がないということ
ですが、当日までにしてきた準備は振り返れば、
いずれも楽しかったです。また、急な変更やハプ
ニングといったものもこのノープランの面白さ
と改めて感じました。

最後に今回の企画に当たって色々なアドバイ
スや協力をして下さった皆さん、本当にありが
うございました!!

今後もノープランを皆さんの楽しい交流の場
として盛り上げていけたらと思います。

第4回リスペクト研修会報告

リスペクトが介助サービスを開始してから、4ヶ月が経ちます。介助では慣れてきたときに、ミスが出てしまいがちです。それは、いつも通りにすればいいという思い込みや、いちいち確認しなくてもいいだろうという考えに陥りがちになるからではないかと思えます。そしてつい介助者が誘導的になったり、介助者の価値観で介助をしてしまうことがあります。そうすると、自分の主張を強く伝えられる当事者ならヘルパーに注意することができますが、伝えられない当事者なら…。やはり、介助者自身が自分の動き方を振り返らなければいけません。

今回の研修会では、初心を思い出し、自分自身を振り返る機会を作ることを目的とし、「当事者になって買い物に行こう！」という疑似体験研修を行いました。

■いざ！研修会開始

1組3人のグループに分け、障害当事者役(肢体障害者)、ヘルパー、観察者をしてもらいました。当事者役には、買い物で買ってくる商品のメモを渡し、観察者には当事者役とヘルパーのやり取りなどのヘルパーの動き方をチェックリストに記入してもらいました。チェックリストには、①移動や、商品選びが誘導的でないか、②お金の出し入れは本人の見える位置で行われているか、③もうひとつ例をなどを項目にあげました。買い物後、そのチェックリストをもとに、感じたことを話し



あ合ってもらいました。

■チェックリストを集約した結果

- ☆ 店内や外を移動する際に、当事者の行きたい場所ではなくて、ヘルパーが行きやすいと思う場所に誘導している。
- ☆ お金の出し入れやレシートいれる際に、当事者に確認をしてもらっていない。
- ☆ お釣りを財布に入れる際、当事者の見える範囲で行われていない。
- ☆ 商品をレジ袋に詰める際、当事者が離れたところに置き去りになっていました。
- ☆ 車イス発進時の声掛けができていなかった。(当事者役はビックリしました)

■振り返っての感想

- ★ 客観的にみることでよかった。
- ★ お金の出し入れなどの確認がないと不安に感じるの自分で自分が介助するときには注意したい。

とく しゅう そ
特集 其の2

あば ぼうしょうくん
暴れん坊将Kunプロデュース☆



きたすけまつえきしゅうへん

じょうほう

北助松駅周辺バリアフリー情報!!

こんにちは、^{あば ぼうしょうくん かわもと こんかい}暴れん坊 将 kunこと川本です！^{じょうほう}今回のバリアフリー 情報 は、リアライズの

^{も よ えき なんかいほんせんきたすけまつえき しゅうへん てんぼ しょうかい おも}最寄り駅である南海本線北助松駅とその周 辺の店舗を紹 介したいと思います。



^{きたすけまつえき ほうめん わかやまほうめん こうがい こうない}北助松駅は、なんば方面・和歌山方面ともに構外から構内・ホームま

ではスロープで移動ができます。しかし傾斜が急なため、手動車いす

やベビーカー等の利用者にとっては大変不便な状況です。この他にも

障害当事者が使いやすい駅にはなっていません。

そのような状況を踏まえ、不便な点や今後の課題などを僕なりに

解説していこうと思います。



^{わかやまほうめん つうろ せま}和歌山方面は、通路が狭

いため、ラッシュ時など

混雑している場合は車

いすで改札口に近づくこ

とが困難なことも。



^{ほうめん えきこうがい}なんば方面は、駅構外から

改札口にかけて広いスペー

スは確保されているが車止め

の柵があり、通行スペースは

車いすが通るには狭い。

■改札口周辺

項目	なんば・和歌山方面共に
券売機のボタンの点字	有り
路線図のフリガナ	無し
点字用運賃表（別途設置）	有り
車いす対応自動改札機	1機有り
点字ブロック・誘導ブロック（色）	有り（黄色）

券売機は両方面共に同じものが設置されています。

券売機の高さが高いため、ひとりで操作しにくい。



わかやま
和歌山・なんば
りょうほうめん
両方面ともにイン
ターホンが設置さ
れています。



なんば方面の改札
からホームまでの
つうろ
通路です。こう配が
あるため、車いす
やベビーカー等で
りよう
利用する場合、上り
お
下りが大変です。



しはつ
始発から午後6時まで和歌山方面改札口は駅員がいないため、インターホンで駅員を呼び出さなければなりません。
また午後6時から終電までの間はなんば方面改札口に駅員がいないため、インターホンで呼び出さなければなりません。

■トイレ周辺

こうもく 項目	なんば方面
くるまいす 車椅子トイレ	あり
くるま 車いすトイレの幅	200 cm × 170 cm
オストメイト付多機能トイレ	なし
しよくちず 触地図（ピクトグラム）	あり
てんじ 点字ブロック・誘導ブロックの敷設	あり
てんじ 点字ブロックの色	黄色



くるま
車いすトイレは狭いため、車い
すを回転させることが出来ません。

※和歌山市方面については、全項目「無し」でした。



くるま
車いすトイレ内の便器で
す。背もたれや可動式の手
すり等は設置されています
が、便器に座った時に洗浄
レバーが右の後ろ側にある
ため手を伸ばさなければな
りません。



トイレ用の触地図です。視覚
障害者が手に触れて位置を確認
するためのものです。

ホーム周辺



項目	わかやま 和歌山・なんば方面共に
ホーム柵・ホームドア	無し
スロープ板	有り
点字ブロック・ 誘導ブロックの敷設	一部有り ※一番後ろのドアにしか誘導されて いない
点字ブロックの色	黄色

わかやまほうめん
和歌山方面のホームです。上の写真の
とお かしょ じょうきやくよう ゆうどう
通り1カ所の乗客用ドアにしか誘導
されていません。



なんばほうめん
なんば方面のホームです。
おく てんじ
奥の点字ブロックは
うんてんせき ゆうどう
運転席に誘導されてお
り、乗客用ドアには1
かしょ ゆうどう
カ所しか誘導されていま
せん。

調査してみたの感想

きたすけまつえきしゅうへん じむしょ しゅうへん ぼく じたくしゅうへん こんかい ちょうさ ぼく す
北助松駅周辺はリアライズの事務所の周辺であるとともに僕の自宅周辺でもあります。今回の調査で僕が住んでい
る周辺の問題点などを再認識できる良い機会になりました。

とうしょ えきいん たいおう よ なんかい くるま りよう すこ かんけい
当初は駅員の対応はあまり良くありませんでした。しかし、何回も車いすで利用していることによって、少しずつ関係を
築いていっています。しかし、駅や駅員の対応を一人の力で変えていくのには限界があるということを再認識しました。や
はり、一人でも多くの障害当事者が、公共交通機関を積極的に利用し、その上で感じる不便さを伝えることも大切だと思
います。

じゆう がいいしゅつ せいど りようそくしん えき こうつう ひつよう
そのためには、自由に外出できるようヘルパー制度の利用促進や、駅までの交通バリアフリーも必要ではないでしょうか。
だれ つか えき ちょうさ ほうこく ほんしん もんだいてい き おこな だいいっぽ
誰もが使いやすい駅にするためには、まず、バリアフリー調査・報告を発信し、問題提起を行うことこそがその第一歩で
はないでしょうか。そして、障害者だけではなく、高齢者、ベビーカーの赤ちゃん、又、その家族など、障害者以外の地域
じゅうみん あんしん りよう えき す まち ちいき ふくしけいかく さくてい さんかく ちいき ざだんかい
住民もが安心して利用できる駅、住みやすい街とはどういうものかを、地域福祉計画の策定に参画や、地域での座談会を
こころ ほうほう みな いっしょ かんが おも ちいきじゅうみん ぎょうせい でんてつがいしや
試みるなどの方法で、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。そして、その地域住民のニーズを行政や電鉄会社
などに投げかけ、三者が協同しユニバーサルデザインを実現に向けて取り組めればと思います。

しょうがいしや ひとり おお ひと つか えき めざ しゃかい かんが
障害者だけでなく一人でも多くの人が使いやすい駅にすることこそが、リアライズの目指す社会だと考えています。

いざかやはな 居酒屋花いち紹介！！

“居酒屋花いち”は、リアルライフのメンバーとの飲み会などでよく利用するお店で、北助松駅から徒歩3分のところにあり、事務所からも徒歩5分と便利な場所にあります。

住所： 大阪府泉大津市助松町 1-3-19

／ 電話番号：0725-23-1171

花いちの特色としては、魚料理がメインで新鮮な魚を使っており、日によってメニューが違います。来年の10月で開店15周年を迎えるということで地域の人に慣れ親しまれているお店です。



お店は、入り口には少し段差がありますが、そこさえクリアすれば、車椅子でも十分入れる入り口や通路が確保されており、車椅子でも3台は利用することが出来ます。



客席はおよそ 20席程あり、テーブル席とカウンター席に分かれております。リアルライフの飲み会で利用する場合は、車椅子などが入れるスペース

があるテーブル席を利用しています。尚、椅子についてはテーブル席・カウンター席共にテーブルに固定されているタイプではなく、自由に移動できます。

店内には和式トイレがありますが、入り口は狭くトイレ内に高めの段差があるため車椅子で利用することは難しいです。そのためトイレは、徒歩3分の北助松駅にある車椅子対応トイレを利用します。今回取材をしたときに点字メニュー、ふりがなの有無を確認したところ、現在はないとのことでしたが、興味を持たれていました！（作成する際には、リアルライフも協力します☆）



お店は、ご夫婦で切り盛りされており、大将、女将さんともとても暖かい人たちです。僕が食べに行ったときには必ずと言っていいほど、脳性まひ特有の不随運動で汗だくになっているのを見て、すぐに冷たいお水を用意してくれます。僕はそんな女将さんの配慮がとてもうれしく感じました。“居酒屋花いち”には、魚料理、揚げ物、ご飯ものなどたくさんの美味しいメニューがあります。その中でも、僕が一番のお勧めメニューは店自慢の新鮮なお造り盛り合わせです！いつも自宅で食べるお造りとは違い、新鮮で、歯ごたえが良く、おいしいです！とても気の利いた

お店なので、皆さんも是非いかれてみてはいかがでしょうか？

☆ 花いちさん！これからも美味しい食事とリアルライフをよろしくお願いします ☆

仲間のコーナー

このコーナーはリアルライフを訪れる仲間たちが自由に投稿できるページです!!

役に立つミニ情報や、みんなの活動紹介にお役立てください!

投稿希望のリクエストがあれば、リアルライフ事務局までどんどん応募してくださいね☆

今回は、辻田さんが代表を務めるサークルNO PLANの投稿です♪

サークルNO PLAN 8月!!

夏の3大イベントといえば、キャンプ、海水浴、バーベキュー! ? ということで、今回はバーベキューをNO PLANで行いました。

浜寺公園は、リアルライフの最寄り駅である南海本線「北助松駅」から、なんば方面に3駅進んだところにある「浜寺公園駅」下車すぐにあります。

まず、先に浜寺公園へ到着した山本さんと鴈野くんが運んできたバーベキューセットをみんなで組み立てて、相宅くんを中心に炭に火を付け、うちわであおぎ火をおこしました。その後、網を乗せて、事前に準備していた肉や野菜を焼き、それぞれ楽しく食べました。炭火で焼いたお肉に舌鼓を打ち、談笑をし、和やかな時間がしばし流れていました。そのとき、突然、相宅くんと三井さんが前日秘かに購入していた水鉄砲をおもむろに取り出し、高橋くんと僕にめがけて攻撃を始めました。和やかな雰囲気は一変。いきなりの不意打ち。攻撃に面くらひ、二人は無抵抗に濡れるがままになると思ひきや、高橋くんは三井さんから水鉄砲を奪い取り、みんなに無差別攻撃を始めました。みんなも慌てて、濡れたらいけな



いものを避難させ、それぞれが、紙コップ、ペットボトル等を手にし、誰もが一歩も譲れない仁義なき戦いが始まりました。

その後、場は益々エスカレートしていき、クーラーボックスに飲み物を冷やすために入っていた氷水をかけるなど、もう何が何だかわからないぐらいにずぶ濡れになりながらみんなで楽しみました。

気がつけば、辺りはすっかり日も暮れていたもので、それぞれ片づけを始めました。冷え切った身体を震わせながら、「風邪引かないようにね」と声を掛け合い、それぞれの家路へと向かいました。来年は、もう少しおとなしくバーベキューを楽しみたいと思いました(笑)。

サークル NO PLAN 10月!!

こんかい つじた りつあん あそ おこな
今回は辻田さんの立案で「遊びまくリツアー」を行いました。



ちゅうしょくどき おとこ にん
まず、昼食時だったこともあり、男7人でなんばパークスにあるレストラン街へ行くことにしました。休日だったこともあり、どの飲食店もすごく混んでいましたが、男7人で「ポムの樹」というオムライス屋に行きました。30分ぐらい並んだ後に、やっと店内に入ることができました。男7人が待っている姿は暑苦しいけど、かわいかったと思います。(笑)

ちゅうしょくご さんか つじた ごうりゅう
昼食後、かけつけ参加の辻田さんと合流をして、なんばパークス内にあるゲームセンターへ行きました。ゲームセンターでの自由時間は1時間で、その時間内にみんなそれぞれUFOキャッチャーなどを楽しみました。景品はお宅君がキーボードぐらいの大きさの板チョコ・リラックマのぬいぐるみを獲りました。また、ほかの人もUFOキャッチャーで景品を獲ろうと奮闘しましたが、さんねん おおやきみ けいひん と残念ながらお宅君しか景品を獲ることができませんでした。(T_T)

ご その後、みんなでプリクラを撮りましたが、撮影スペースが狭かったため、電動車いすに乗っている3人を、どういうふうに並べたらいいのかで悪戦苦闘しました。

けつきよく おかだくん でんどうくるま お つえ
結局、岡田君が電動車いすから降りて、クラッチ(杖)で立ってもらい、川本と辻田さんは電動車いすのまま並んで、他の参加者はその隙間に入りなんとかプリクラを撮ることができました。参加者の中には、大勢でプリクラを撮るのが初めてで、大勢で撮れてよかったというかんそう感想もありました。

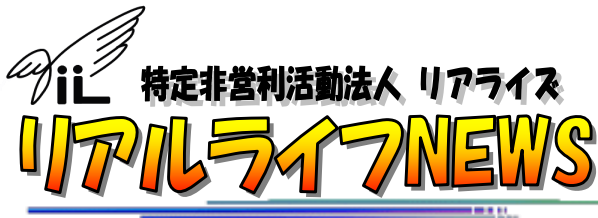
あそ あと じかん じゅうじかん もう
ゲームセンターで遊んだ後、1時間の自由時間を設け、みんなそれぞれなんばパークス内でウィンドウショッピングを楽しみました。

よる しんさいばし いどう い
夜になり、心斎橋へ移動しダーツバーへ行きました。ダーツバーでは、ダーツで対戦をしたり、LOVEジェンガで遊んだり、みんなで楽しみました。また、LOVEジェンガでは、ブロックに書かれた指示に従い、恋愛話を次回自分の順番が来るまで赤ちゃん言葉で話すなどをしました。そして、ジェンガを倒してしまった人が罰ゲームドリンクを飲むということもしました。幸か不幸か、2度の罰ゲームドリンクが登場しましたが、2度とも



つじた の ひさん じたい わらい
辻田さんが飲むという悲惨な事態になりました(笑)。

ほんとう たの いちにち じかい こんかい ま
本当に楽しい一日でした。次回も今回に増してスペシャルな企画を実施したいと思います。



目次

■ 特集1「NPO 法人リアライズ設立集会」(P.2-7)

■ 奈々ちゃんの活動紹介！(P.8)

■ 第4回リスペクト研修会(P.9)

■ 特集2「暴れん坊将Kun プロデュース」(P.10-13)

■ みんなのコーナー (P.14-15)

■ もくじ・編集後記(P.16)

編集後記

皆さんお元気ですか？最近めっちゃくちゃ寒くなりましたね。設立集会を通して少し自分自身に自信がついたような気がします。さて、リアライズ激動の一年が過ぎようとしています。三回の通信発行を振り返ると、本当に伝えたいことを伝えきれていないかと思ひます。来年はもっともっとパワーアップして本当に皆さんが読みたいと思ひえる通信にしていきたいと思ひます。これからもよろしくお願ひします。 By 川本

早いっ！もう12月、今年ももうそろそろ終わりますね。年男ももうそろそろ終わります。4月に事業開始し、設立記念集会がおわり、2008年はリアライズにとって激動の1年だったように思ひます。来年、リアライズに待ち受けるものはなんでしょう？なんでもどーんとい！そんな風に思ひます。では、少し早いですが、みなさん良いお年を☆ By ロッシー・山本

《発行人》

関西障害者定期刊行物協会

〒536-0023 大阪市城東区東中浜2-10-13 緑橋グリーンハイツ1F

《編集人》

特定非営利活動法人 リアライズ

〒595-0071 大阪府泉大津市助松町1-3-33エクセラート北助松1階 店舗4

TEL : 0725-22-7716 / FAX : 0725-22-7746

URL : <http://www012.upp.so-net.ne.jp/Realize/>

定価 : 100円